

1. 活動の概要

6月11日(月)、浜田市立波佐小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに遺跡や文化財が身近なものであること知るために、学校周辺の遺跡や出土した土器、石器などについて実物を見ながら説明を受けました。自分たちの住む町にも遺跡がたくさんあり、様々な出土品があることを知った児童たちは、とても興味を持った様子でした。

続いて、体育館に移動して、大仏パネルに挑戦しました。5・6年生7名に応援の3・4年生5名が加わり、全員で協力してパネルを並べました。実物大の大仏パネルが完成すると、児童たちはその大きさに驚きました。

その後、理科室に移動し、和同開珎づくりを体験しました。グループごとに役割を決め、コンロで合金を溶かし、緊張しながら鋳型に流し込みました。鋳型を開けて和同開珎の枝銭が現れると児童たちから歓声があがりました。

学習や体験活動をとおして、児童たちは歴史への関心が高まり、地元の文化財にも興味を持った様子でした。

2. 活動の様子

1)古墳時代や奈良時代について学ぶ



「みなさんの町にはこんなに遺跡があります。」



「本物の土器に触ってみよう」

2)古代体験活動～奈良の大仏パネル～



みんなで協力してパネルを並べます



完成した大仏と記念撮影

3)古代体験活動～和同開珎づくり～



「きれいにできた！」

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 波佐のこうみんかんを立てる前はつつちょうさをしてみたら、いせきが出てきたことを初めて知ることができた。
- 古墳や遺せきなど実さいに見てみたい。今残っているのは少ないだろうけど、最近作られた物でもいいから、実際にどれくらい大きいのかなどを知りたい。
- 奈良の大仏体験は、実さいの大きさや手の大きさを知ることができた。作るのが楽しかった。たくさんの気持ちを思いうかべながらした。
- 鉄をとかしてかたにいれるのが大変だったけど、昔はもっと大変だったということが心に残った。本かくてきにお金を作ったので大事にしておきたいです。
- いせきのはつつをしてみたい。いせきを今日はじめて手に取って見るすることができた。またしらべてみたいと思った。

2)担任の先生から…

- 歴史を身近に感じることができる内容だった点がよかった。地域の古墳、体験による大仏づくりへの気づき、実験(作業)による和同開珎づくりの全体構成もよかった。
- よりよいものをというならば、資料がワークシート形式になっているとよいかもしれません。
- 小規模校でも貴重な体験させていただき感謝しております。

3)埋文センターから

学校や自分達の家の近くに、古墳時代や奈良時代の遺跡があり、発掘調査が行われたことを知った子供たちは、歴史や文化財に興味を持った様子でした。

また、体験活動を通じて、奈良の大仏や昔のお金についても関心が高まったようで、地元の遺跡や古墳、大仏、昔のお金について、「もっとくわしく知りたい」という感想がたくさんありました。先生からご指摘があったように、当日の配布資料の工夫をして、さらに良い内容を目指していきたいと思います。